



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



プレスリリース

2020年1月29日

RECNAポリシーペーパー9号「教皇フランシスコ:被爆地からの発信」
の発行と記者会見について（お知らせ）

2019年11月24日、ローマ教皇フランシスコが被爆地を長崎、広島に順に歴訪し、核兵器廃絶にむけ力強いメッセージを発信されました。

今回の被爆地訪問が、核軍縮においてどのような意義を持ち、日本の核政策に与える含意がどのようなものであったか、さらには、長崎のカトリック教会においてどう影響を与えたかについて、専門的観点から、RECNAポリシーペーパー9号としてまとめました。

つきましては、以下のとおり記者会見にてポリシーペーパーのブリーフィングを行いますので、是非お集まりください。

記

日時：2020年2月4日（火）14：00 - 15：00（1時間程度）

場所：長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）1階会議室

出席者：吉田文彦（RECNAセンター長）

広瀬 訓（RECNA副センター長）

山口 響（RECNA客員研究員）

四條知恵（多文化社会学部客員研究員）

（問い合わせ先）

核兵器廃絶研究センター事務室

TEL: 095-819-2164

FAX: 095-819-2165

MAIL : recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp